

## 第 2 回 新 町 地 域 審 議 会

### その他の質疑

内 容 区 分	No.	質 疑	回 答
路線見直しの「ぐるりん」について	1	バス路線の改正に伴い、老人家庭に大きな字で書かれた時刻表を配布いただきたい。また、老人が集まる場でのPRも有効と思われる。停留所の増加や時刻表の見直しで利用者を増やしていただきたい。	ぐるりんバス路線については、支所地域交通体系検討委員会と共に各地区に小委員会を設置して検討を重ねてきた。 新路線は新年度より運行が開始されるよう、路線図や時刻表も各要望等により作成し、運行については今後も引き続き利用状況等の検証を行って見直しを図りたいと考えている。なお、多くの方に利用されるよう周知も図りたい。
商店街と県有地について	1	新町は面積3.74平方キロメートルであり、密集地である。市長は買い物客を駅周辺に集積させる旨発言したが、新町にも商店がある。 芝生公園は、駐車場やイベント会場、ドクターヘリの発着場等様々に活用されている。今後も活用できるようお願いしたい。	商店を面白くする手法としてリニューアルの助成を行い、新町でも20軒程からの応募があった。また、小口資金融資を手厚く使いやすくした。 芝生公園は、群馬県が高崎市の了解なく売ることはない。現状を維持したい。
新町の踏切について	1	新町の踏切は電車が新町駅を通過する手前で遮断機が降りる。各駅で停車する電車がゆっくり新町駅に近づく時は、全ての遮断機が下り、また、駅で乗客が乗り降りした後に踏切が開く。このような状況で国道17号も近いことから踏切の中で右往左往している車を何回も見ている。 また、通称七曲という踏切は、吉野工業と日本肥料が近くにあり、大きい車が通行する。踏切を渡ってすぐに右折する必要がある、そこで車が停車することにより踏み切りが危険な場所になっている。	県も市もJRも問題に注目している。 例えば、新町駅にはエレベーターがないが、高架化という大きな選択をすれば、エレベーターを作ることが無駄になる。しかし、エレベーターを造って高架化の問題を先送りするのも問題である。高架化の費用全てを高崎市が全部負担するのは難しい。高架化はすぐにできないからエスカレーターとエレベーターだけでも早く設置して欲しいという話もあるが、それも手戻りという感がある。